



かわぐち合唱団ニュース 第19号 2017,2,8

かわぐち合唱団 代表 小川喜也

指導者とは、根気と忍耐のいる仕事だとテープを聞きつつ、いつも思います。唱楽さんの川柳を、思い出しつつ、「10周年」に向かって頑張りましょう！

「指導者の 注意3歩で 忘れぬよう クイズで頭脳 トレーニング中」(唱楽)

2月1日の練習から

- ①、発声練習:
 - ・(ヤーヤーヤー)、子音の処理を早めにして、母音が音符にぴったりと重なるように。
- ②、Tantum Ergo:
 - ・相当前に、母音を出して歌うように。発声練習を生かすこと。
 - ・毎回音取りにならないように、各自しっかり復習を！
 - ・フォーレの楽譜は、毎回持ってくること。
 - ・出だしのハーモニー良い。息は長く、長く。
 - ・最後の(アーメン)の、ハーモニックを守ろう。
- ③、なぎさ歩めば(音取り)・(v) ブレスでのみ息を吸うこと。他ではしない。(全員でつなげよう。隣の人とブレスが合わない事。)
 - ・来週も練習をする。Bから
 - ・18ページの3小節の(とおきー)の「きー」は、ソプラノ以外(タイ)ではなく、音が変わるので注意！
 - ・23ページの(うなばらーは)の「はー」は、しっかり伸ばすこと。

***この後は、録音し忘れましたので、記載省略です。ごめんなさい。

連絡

- 1、3月5日の(集合、練習場所)は、15日に決定するので後日にまた連絡します。
- 2、15日から文化祭に向けての曲の練習を開始。楽譜を持ってきて下さい。
(待ちぼうけ、浜辺のうた、Tantum Ergo、虹と雪のバラード)

詩:

「のはらうた」より

工藤直子作

きみの ゆめ

のはら「とり」いちどう

ことし「とりどし」 はばたくとしだ
 のはらなかまに とりくん いっぱい
 いっしょに うったって とびったって
 そらに えがこう きみのゆめ

